

【基本的な考え方】

- ◆大会時には、平時の交通量に大会交通が付加され、混雑悪化の恐れ。
- ◆このため、以下で構成される輸送対策を実施。
 - ・経済界や国民の幅広い協力により交通量を分散・抑制する
「交通需要マネジメント(TDM)」
 - ・道路に流入する交通量を調整する
「交通システムマネジメント (TSM)」
- ◆まずは、経済界や国民の幅広い協力に基づくTDM施策により交通需要の分散や削減を図りつつ、これにより十分な効果が得られない場合に備えて、TSM施策も並行して検討中。

【TDMの実施目標】

- ◆道路交通：平日の15%程度交通量減（休日並み）の良好な交通環境の実現を目指すため、継続的に一般交通を抑制し交通量全体を大会前の10%程度減とするとともに、部分的に更なる分散・抑制を図る。
- ◆公共交通（鉄道）：局所的な混雑への対応などにより、現状と同程度の安全で円滑な運行状況を目指す。

交通需要マネジメント(TDM)の取組について

- ・ TDMは大会期間中、特に平日において重点的な取組が必要

日	月	火	水	木	金	土
7/19	20 海の日	21	22	23	24 オリンピック 開会式	25
26	27	28	29	30	31	8/1
2	3	4	5	6	7	8
9 オリンピック 閉会式	10	11 山の日	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25 パラリンピック 開会式	26	27	28	29
30	31	9/1	2	3	4	5
6 パラリンピック 閉会式	7	8	9	10	11	12

体育の日
(スポーツの日)

◆オリパラ特措法の一部を改正する法律（2018年6月20日公布）により、2020年に限り、
 ①「海の日」を7月23日に、
 ②「体育の日※」を7月24日に、
 ③「山の日」を8月10日
 とすることとされた。

※「国民の祝日に関する法律」の一部改正（同日公布）により、「体育の日」は2020年以降、「スポーツの日」に名称が変更。

重点的な取組が必要な期間

交通需要マネジメント(TDM)の取組について

2020TDM推進プロジェクト

◆「2020TDM推進プロジェクト」の立ち上げ（2018年8月）

大会中の交通混雑緩和に向けた交通需要マネジメント(TDM)の取組について、東京都、国、組織委員会が主催者となり、経済団体の協力を得て、「2020TDM推進プロジェクト」として東京2020公認プログラム制度を活用して推進。企業や国民へ幅広い協力を呼びかけ、交通需要の分散や削減に向けた賛同の輪を広げる。

<事務局>

東京都、内閣官房、東京2020組織委員会

<登録数>

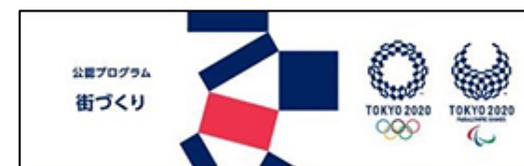
協力団体34団体

参加企業数412社

(※2019/1/25現在)

【取組例】

- ・大会期間中に夏季休暇を取得
- ・時差出勤やテレワークの積極的な利用
- ・配送の時期や時間帯の変更



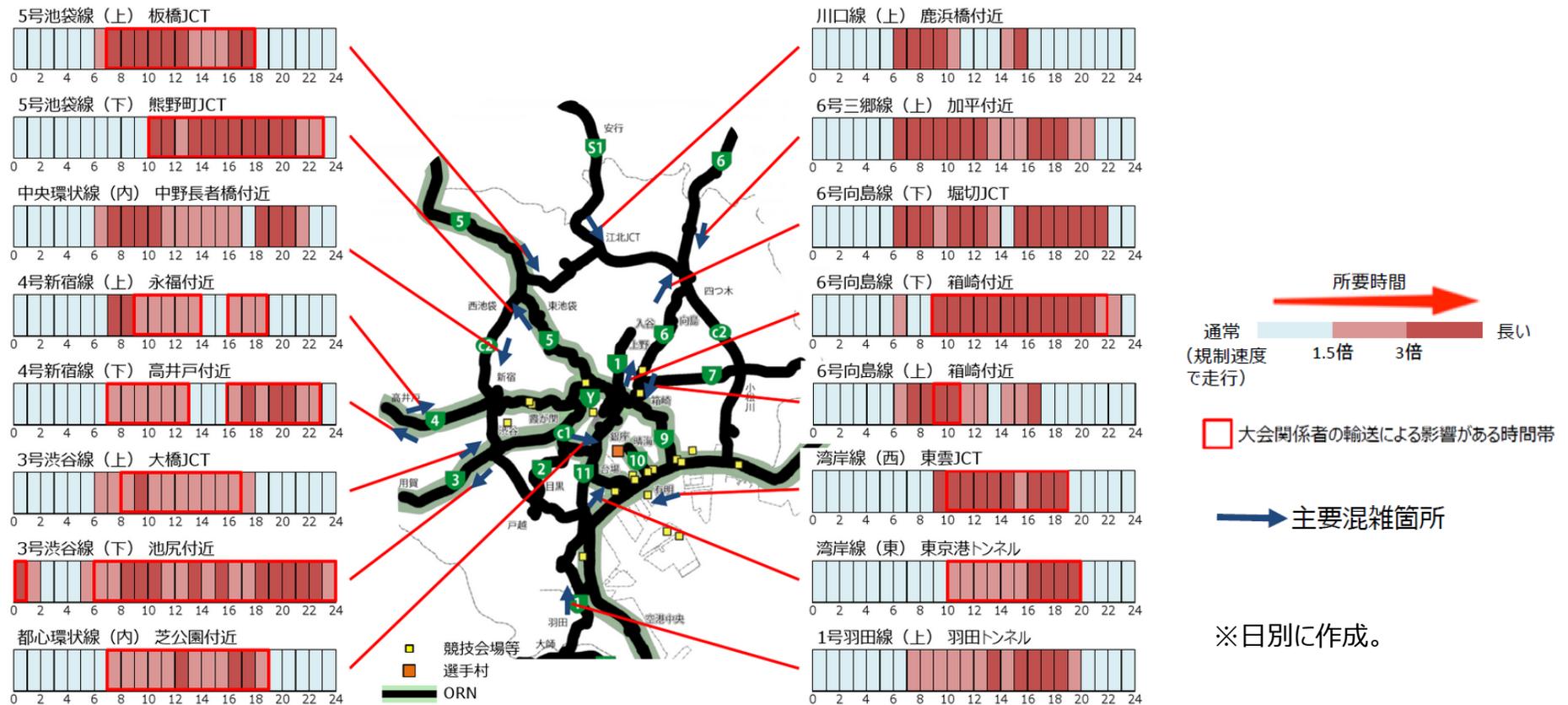
「2020TDM推進プロジェクト」発足式（2018/8/8）

大会輸送影響度マップについて

企業活動への影響把握や、大会時に発生しうる混雑の回避策などの立案に活用していただくことを目的として、交通対策を行わない場合の大会輸送影響度を示したマップをホームページ上で公表。（2018年10月）

(URL : <https://2020tdm.tokyo/map>)

◆高速道 例：2020年7月31日（金）



※日別に作成。

大会輸送影響度マップについて

◆鉄道（路線全体） 例：2020年7月31日（金）7:00～8:00



凡例

	観客の影響 がある	観客の影響 がほとんどない
かなり混雑		
やや混雑		

※日別・時間帯ごとに作成。

※別途、地下鉄も作成。

交通需要マネジメント(TDM)の展開の考え方

今後は、全体セミナー・相談会を行うとともに、「競技会場等が集中」「道路・鉄道の混雑箇所を通過する交通が多い」との観点で抽出した重点取組地区（16地区）でも個別のセミナー・相談会を実施し、協力を呼び掛けていく。

取組エリア
(主に首都圏全域)



(この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平29情使、第1552号))

重点取組地区（16地区）



重点取組地区

【ヘリテッジゾーン】

- ①新宿
- ②渋谷
- ③品川
- ④浜松町・田町
- ⑤新橋・汐留
- ⑥大手町・丸の内・有楽町
- ⑦八重洲・日本橋
- ⑧神田・秋葉原・御茶ノ水
- ⑨九段下・飯田橋
- ⑩番町・麴町
- ⑪青山・表参道
- ⑫赤坂・六本木
- ⑬霞ヶ関・虎ノ門

【東京ベイゾーン】

- ⑭晴海・有明・台場・豊洲・大井ふ頭

【その他】

- ⑮池袋
- ⑯大崎

凡例

■：競技会場・選手村

◆個別セミナー・相談会における取組内容

- 2019年2月～【地区内の課題共有】大会輸送影響度マップの解説や地区毎の交通集中の要因の共有等
- 2019年4月～【経済活動を維持するための方策の提案】推奨行動の提案→企業毎に取組を検討
- 2019年夏～【エリアのアクションプランの作成】コンサルタント派遣→具体案の作成

⇒2019年夏は、テレワーク・デイズ2019と連携し、TDMの試行を実施